

データサイエンス教育プログラム がスタート

関東学園大学では、経済学科・経営学科に将来の進路につながる多彩なコース・プログラムを用意しています。そして、**これからの社会では、すべてのビジネスパーソンに必要なことと**考え、**データサイエンス教育をスタートさせました。**

現在のビジネスにおいては、業種を問わず
データを活用した経営戦略が不可欠となっています。



そのために
関東学園大学では

こんなことを学びます

プログラミング アルゴリズム ビックデータ IoT メタバース
キャッシュレス決済 AI〈無人コンビニ等〉 ジオマーケティング
NFT〈非代替性トークン〉 パーソナライゼーション デジタルサイネージ など

主な担当教員を紹介します

林 仁史
はやしひとし
教授/学科長



担当科目：マクロ経済学、
スタティスティクス、
演習 I

横浜国立大学大学院（修士）。国の経済変動やその変動を安定化させる経済政策について研究し論文で発表してきたが、国の視点から経済を分析する方法は本学のマクロ経済学の講義においても取り入れている。

犬童 健良
いんどうけんりょう
教授



担当科目：経営情報論、
行動経済学、スポーツ統計学

筑波大学大学院（修士）。専門である経営情報学は、経営学をベースとして、企業経営におけるさまざまな情報の活用の方法をテーマとする学問。授業の中で、IT技術の基礎から実社会での応用の広がりまでを教授。

長谷川 雄哉
はせがわ ゆうや
准教授



担当科目：経済学入門 I、
ミクロ経済学、産業組織論、
テクノロジーと社会、
演習 I

神戸大学大学院（博士）。研究では、マイクロソフト、グーグル、アップル、アマゾンといった ICT 企業のどのような行動が、公正な企業同士の競争を妨害してしまうのかをテーマとして論文を執筆。

鄭 宇景
じょん うーぎょん
講師

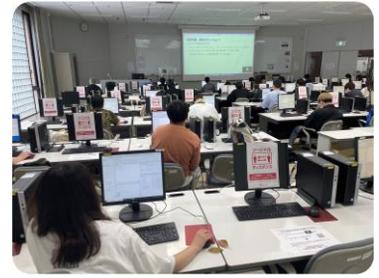


担当科目：エコノメトリクス、
データリテラシー、
データサイエンス、
データ分析基礎演習、
プログラミング実践、
アルゴリズム論、
ソフォモアセミナー

早稲田大学経済学研究科（修士）。時系列データの計量モデルとマクロ経済学への応用を中心に研究。



大学卒業後ビジネスパーソンとしてコンピテンシーを発揮するためにデータサイエンスの知識を身につけておくことは必須となりつつあります。その知識はどのような職業に就こうとも必要とされるものです。本学が提供するデータサイエンス教育プログラムは社会に出る前に当然のように身につけておかなければならない知識を十分に学べる内容構成となっています。



「プログラミング実践」の授業風景
データサイエンス関連科目は大人気です

■ 学べること

テクノロジーの革新と社会生活の変化についての知識が学べる!

テクノロジーと社会、データリテラシー、データサイエンスにおいて、第4次産業革命、Society5.0、データドリブン社会等が生活に与える影響を知る。例えば、以下のような概念についても取り扱う。(ビックデータ、IoT、メタバース、キャッシュレス決済、AIのビジネス活用(無人コンビニ等)、ジオマーケティング、NFT(非代替性トークン)、パーソナライゼーション、デジタルサイネージ等)

プログラミングができるようになる!

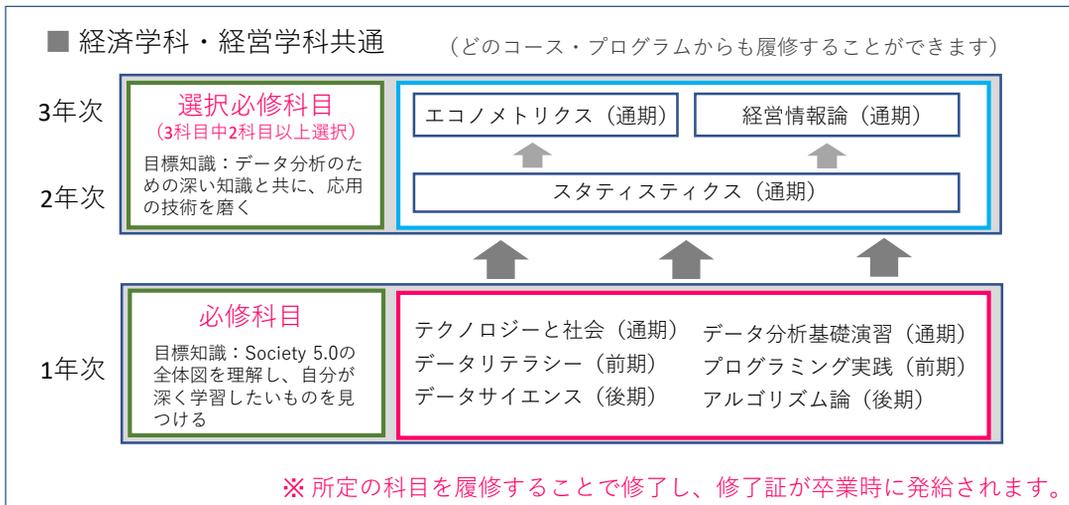
経済学や経営学だけでなく社会に出てからも必須スキルであるデータ分析・データ解析。プログラミング実践において、データ解析に最適化され、必要なライブラリーが充実しているR言語、Python、JAVA等でプログラミングができるようになる。

アルゴリズム(ある特定の問題を解いたり、課題を解決したりするための計算手順や処理手順)を学ぶ!

アルゴリズム論において、アルゴリズムについての知識を得ることで、論理的思考力だけでなく、効率的に作業を行う方法を考える能力を養う。

データ分析・データ解析を実践する力を身につける!

データ分析基礎演習、データサイエンス、スタティスティクス(統計学)、エコノメトリクス(計量経済学)、経営情報論において、自分で書いたプログラムを実行し、データ分析・データ解析を実践する力を身につける。



■ 授業紹介

テクノロジーと社会

私たちはインターネット、ICTテクノロジーとの関わり方を学ぶとともに、変化する社会を知り、そこでの自らの人生をより有意義なものとするために、リテラシーを身につける必要があります。この科目では、まずコンピュータと社会のかかわりを学びます。人類がコンピュータに求めてきたもの、そしてコンピュータから得られたもの、その歴史の流れの中に私たちが目指す社会の夢の形を見つけることができるでしょう。さらにいま現在おきている注目のテクノロジーが社会に与えているインパクトを学びます。テクノロジーは社会を変革するための手段です、どのような技術が使われているのかを知ること、世の中を変えていくからを理解します。

プログラミング実践

言語は人と人を繋げるコミュニケーションの手段です。コンピューターと人を繋げるのは、プログラミング言語です。プログラミングに熟達すると、コンピューターをフルに活用できます。これからは、コンピューターを用いて問題を解決する能力が問われるため、プログラミングの知識も重要になっていきます。この科目の目的は、プログラミングの基礎から応用まで学習し、コンピューターの活用能力を身につけることです。そのためにプログラミング言語Rを中心にプログラミングを学びます。Rのインストール方法から始めて、ベクトルや行列といったデータ形式の概念、そして、各種パッケージを用いて実践的な問題解決まで網羅します。

アルゴリズム論

様々なプログラムを組んで、問題解決ができる人でも、いつも最適な解法を出すとは言えません。より早くて効率的なプログラムを組むためには、アルゴリズムの知識が必要です。データ構造をどう定義するか、どのような解法を採用するかによって、プログラムが問題を解く時間は大きく変わってきます。この科目の目的は、アルゴリズムの基礎概念を理解することで、効率的なプログラミングの方法を身につけることです。そのためにデータ構造とアルゴリズムに関する基礎知識を学びながら、様々な実習問題に触れます。